

目 次

まえがき(1)
研究協力機関名簿(5)
研究協力者名簿(5)
I 問題と目的 1
II 方 法 7
III 結果と考察 11
A. 「コミュニケーション行動」へのアプローチ	
事例1 マンドーモデル法による身振りサインの指導 11
事例2 「トランポリン・お願いします」の2語サインの指導 19
事例3 指示理解力を高める指導ープロンプト方法の検討 25
事例4 身のまわりの物を使った指示理解の指導 30
B. 「活動の見通し」へのアプローチ	
事例5 調理技術の向上と活動の見通しを促す指導 39
事例6 調理学習において学習の流れを明確にして、活動の 理解を容易にした指導 45
事例7 自発的に次の活動に移ることを促す指導 51
事例8 認知能力や指示を受容する能力を高め、活動を見通す ことを促す指導 56
C. 「課題の組み立て」へのアプローチ	
事例9 ボーリング・ゲームの指導 65
事例10 学習活動への参加を促す教材の工夫 72
事例11 具体的操作課題の導入による授業への参加促進の試み 77
事例12 少人数学級の朝の会と車遊び 83
D. 「問題行動」へのアプローチ	
事例13 食行動の形成を促し、問題行動の低減を図る指導 93
事例14 こだわりと自傷の低減を図る指導 98
IV まとめと今後の課題 105
V 文 献 109